

日本科学協会の概要

科学研究を奨励し、科学教育と一般文化の発展に寄与することにより、世界平和に貢献することを目的に1924年に設立された財団法人で、若手研究者の研究支援や青少年の科学体験などの各種事業とともに、1999年から国際協力事業として「教育・研究図書有効活用プロジェクト」を推進しています。

日本科学協会の主要事業

1. 「科学振興のための研究助成と研究交流」事業
2. 「教育・研究図書有効活用プロジェクトの実施」事業
3. 「海洋・船舶科学研究助成」事業
4. 「体感型実験装置群による巡回展の開催」事業
5. 「画期的な表現手法を用いた地球科学の理解促進」事業
6. 科学実験データベースの公開

◆「中国大学図書館担当者招聘」

多角的な「日本」理解と日中学术交流の促進を図るため、寄贈対象大学の図書館担当者等を対象に2001年に立上げた招聘研修で、図書館や歴史・文化施設の視察、図書関係者等との情報交換など、様々なプログラムを実施しています。これまでに6度の「招聘」を実施し、合計128名の担当者を招聘しました。



教育・研究図書有効活用プロジェクトの概要

国際的な相互理解の促進と友好親善の増進を図るため、図書寄贈と人的交流を柱に広範な人材育成事業を実施しています。

図書寄贈事業

出版社、図書館、企業、大学・研究機関、一般の方々など各方面から提供された図書を、分別・整備のうえ海外の大学・研究機関等に寄贈し、教育・研究への活用を図るというもので、当面は中国の57大学等に寄贈対象を絞って事業を実施しています。

◇寄贈対象大学



お手持ちの図書をご提供ください!!

《送付先等の問合せ先》

TEL: 03-6229-5364

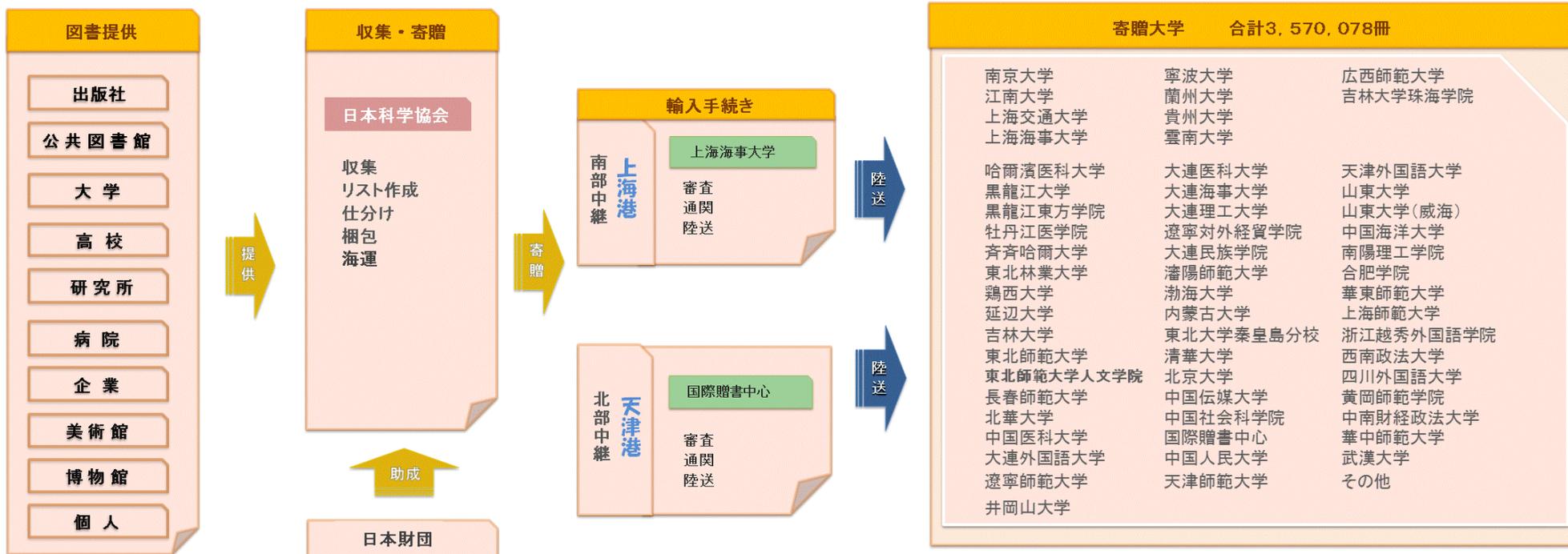
FAX: 03-6229-5369

e-mail: bp@jss.or.jp

公益財団法人
日本科学協会

2016.3

◇寄贈の仕組み



◆「笹川杯日本知識大会」



「日本」理解の深化と日本語学習意欲の高揚を図るため、2004年に中国で立上げた日本に関する知識・情報を競う大会で、日本語を学ぶ中国の大学生を対象として毎年開催しています。

2011年度以降、大会を全国規模に拡大して開催しています。2015年度までに465大学、1,395名の選手が参加しました。

*日本知識大会のあゆみ

| 年 | 開催地 | 参加校 | 優勝大学 |
|----------------------|---------|-------|----------|
| 2004年 | 黒龍江大学 | 8大学 | 黒龍江大学 |
| 2005年 | 黒龍江大学 | 10大学 | ハルビン医科大学 |
| | 南京大学 | 9大学 | 南京大学 |
| 2006年 | 黒龍江大学 | 7大学 | 黒龍江大学 |
| | 寧波大学 | 10大学 | 寧波大学 |
| 2007年 | 佳木斯大学 | 8大学 | 佳木斯大学 |
| | 浙江工商大学 | 12大学 | 南京大学 |
| 2008年 | 長春師範大学 | 8大学 | 長春師範学院 |
| | 鑑真学院 | 17大学 | 渤海大学 |
| 2009年 | 大連外国語学院 | 16大学等 | 南京大学 |
| | 蘇州大学 | 19大学 | 黒龍江大学 |
| 2011年 (2010年度の延期) | 黒龍江大学 | 10大学 | 南京大学 |
| | 吉林大学 | 28大学 | 東北財経大学 |
| 2011年 | 東華大学 | 21大学 | 山東大学 |
| | 貴州大学 | 10大学 | 貴州大学 |
| 2011年 | 南京大学 | 29大学 | 蘇州大学 |
| 2013年 | 中国人民大学 | 60大学 | 東華大学 |
| 2014年 | 北京大学 | 89大学 | 洛陽外国語学院 |
| 2015年 | 吉林大学 | 94大学 | 武漢大学 |
| 2016年 | 武漢大学 | | |

◆「Panda杯作文コンクール」 日本の若者対象

日本の若者の中国への関心・理解を図るため、「中国」をテーマとした「作文コンクール」を人民中国雑誌社、中国大使館とともに2014年より立ち上げました。優秀賞、入賞を受賞した方は、7日間の中国研修旅行に参加します。

2015年度までの応募作品は578点で中国招聘者数は27名です。



パンダ杯 作文コンクールのあゆみ

| 年 | 応募形式 | 応募点数 | 審査結果 |
|-------|------|------|----------------|
| 2014年 | 日本語 | 224点 | 優秀賞10点、佳作20点 |
| 2015年 | 日本語 | 354点 | 優秀・入賞15点、佳作30点 |
| 合計 | | 578点 | |

◆「笹川杯作文コンクール」中国の若者対象

中国の若者の日本への関心・理解を深めるため、2008年度より“感知日本”をテーマに、中国の広範な青年層を対象として、中国語と日本語で応募する「作文コンクール」を“中国青年報”及び“人民中国雑誌社”との共催により実施しています。2015年度までの応募作品は44,909点です。

笹川杯 作文コンクールのあゆみ

| 年 | 応募形式 | 応募点数 | 審査結果 | 媒体 |
|-------|------|---------|-------------|-------|
| 2008年 | 中国語版 | 6,278点 | 一等賞6点他入賞36点 | 中国青年報 |
| | 日本語版 | 271点 | 優勝2点他入賞12点 | 人民中国 |
| 2009年 | 中国語版 | 7,208点 | 一等賞6点他入賞36点 | 中国青年報 |
| | 日本語版 | 1,698点 | 優勝2点他入賞12点 | 人民中国 |
| 2010年 | 中国語版 | 5,877点 | 一等賞6点他入賞36点 | 中国青年報 |
| | 日本語版 | 1,455点 | 優勝2点他入賞12点 | 人民中国 |
| 2011年 | 中国語版 | 8,410点 | 一等賞6点他入賞36点 | 中国青年報 |
| | 日本語版 | 1,907点 | 優勝2点他入賞12点 | 人民中国 |
| 2012年 | 中国語版 | 5,305点 | 一等賞6点他入賞36点 | 中国青年報 |
| | 日本語版 | 778点 | 優勝2点他入賞12点 | 人民中国 |
| 2013年 | 中国語版 | - | ※開催見送り | - |
| | 日本語版 | 1,727点 | 優勝2点他入賞16点 | 人民中国 |
| 2014年 | 中国語版 | - | ※開催見送り | 中国青年報 |
| | 日本語版 | 1,879点 | 優勝2点他入賞16点 | 人民中国 |
| 2015年 | 中国語版 | - | ※開催見送り | 中国青年報 |
| | 日本語版 | 2,116点 | 優勝2点他入賞16点 | 人民中国 |
| 合計 | | 44,909点 | | |

◆「日本知識大会・作文コンクール」優勝者等招聘

実体験や人的交流による多角的な「日本」理解と友好交流の促進を図るため、「知識大会」と「作文コンクール」の優勝者等を対象に毎年実施しており、日本各地の訪問見



学、ホームステイ、日本の大学生との意見交換や自由交流など、これまで様々なプログラムを提供してきました。

2015年度までの招聘者数は、合計256名です。

教育・研究図書有効活用プロジェクト
Education and Research Library Project



1冊から始まる国際交流...